

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第2回松阪市文化センター運営委員会
2. 開催日時	平成28年9月14日(水) 午後7時から午後9時
3. 開催場所	松阪市川井町690 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室
4. 出席者氏名	(委員) ◎梶 吉宏 ○中西 幸男・佐藤 牧子・森本 小百合 中村 良子・前川 高司・西村 裕世 (◎委員長 ○副委員長) (事務局)村林課長・鈴木係長・石田主任・宮林館長・上村主幹・乾 係員・中村所長・杉山係員・石井係員・飯田係員・伊藤係 員・脇田係員
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	無
7. 担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール(松阪市民文化会館) 担当:館長 宮林 弘 電 話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 E-Mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

- (1) 平成29年度自主事業について
- (2) その他

議事録

別紙

平成 28 年度第 2 回松阪市文化センター運営委員会報告書

日 時 平成 28 年 9 月 14 日 (水) 午後 7 時～午後 9 時

場 所 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室

委 員 ◎梶 吉宏・佐藤 牧子・中村 良子・森本 小百合

○中西 幸生・前川 高司・西村 裕世

計 7 名

(◎委員長 ○副委員長)

事務局 村林 篤・鈴木 真喜・石田 賢太郎・宮林 弘・上村 良知・乾 雅輝

中村 雅一・杉山 正樹・石井 洋次・飯田 圭吾・伊藤 佑真・脇田知紘

計 12 名

傍聴者 無

事務局 平成 28 年度第二回松阪市文化センター運営委員会を開催致します。それでは審議に先立ちまして、館長の挨拶お願い致します。

事務局 第二回目の運営委員会に出席をいただきましてありがとうございます。今回二回目という事で、前回報告した自主事業についてほぼ決まりましたのでその報告をさせていただきます。それでは、審議の方をよろしくお願い致します。

事務局 続きまして、事項書 2 の委員長挨拶、梶館長お願い致します。

委員長 お忙しいところお集まり頂き、ありがとうございます。最近私どもの催し物も入る物が入るし、入らない物は少ないんだけど、入る物が入るという事で、これからも初めに企画、チケットは売るもんじゃなくて、売れるものを企画するというのが私のアイデンティティでチケットを売ろうと思ったって売れません。やっぱり売れる、向こうの方から買いに来てくれるものを。商売なんでもそうなんですけど。今日は 29 年度、来年度の自主事業についての協議事項となりますので、どうぞよろしくお願い致します。

事務局 ありがとうございます。それでは只今から議事に入らせていただきます。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条第 2 項の規定では会議は委員の過半数以上の出席がなければ開く事が出来なくなっております。本日の出席委員は

7名ですので会議が成立しております事をご報告いたします。それでは議題に移りたいと思います。松阪市文化センター運営委員会規則第5条に基づきまして、委員長が会議の議長となりますので、議事進行につきましては梶委員長よりよろしくお願い致します。

委員長 それでは協議事項第3、平成29年度自主事業について事務局、説明をお願い致します。

事務局 それでは平成29年度の自主事業の一覧をご覧いただきたいと思います。自主事業の実施計画におきまして、予算が1,300万円以内を掲げておりますので、その範囲内で計画を致しました。29年度につきましては13事業の提案をしております。文化芸術団体との共催事業では、現在二つの事業の申請があり、これから増える可能性もあります。それでは、クラギ文化ホールの自主事業から説明させていただきます。最初に鑑賞系の事業としまして、7月30日に共催事業として、お母さんといっしょ、ガラピコプーを開催致します。こちらの事業は、2回公演を予定しております。この事業は今年の4月4日から放送されているNHKの幼児番組、お母さんといっしょの中で放送されている着ぐるみによる劇です。水と緑が豊かな小さな惑星、しずく星というのが舞台となっております。そこでの暮らしの中でお互いの心を結んでいく友情の物語です。事業費としましては約225万円となり、入場見込み数は1回目が約1,000人、2回目に約800人を見込んでおります。次に8月10日に毎年恒例の舞台裏見学会を実施予定としております。事業費は約1万6,000円です。今年度も多数の参加があり、参加者の意見の中でピンスポットライトの操作が一番楽しい印象を受けましたという事を聞いております。続きまして9月29日ですが、こちらも共催事業としまして野村万作、萬斎による狂言を実施予定としております。日本の伝統芸能である狂言において著名な二人の公演を実施します。演目につきましては、現時点では未定です。事業費は約117万円を予定しております。入場見込み数は、夜間開催ですので、1,100人を見込んでおります。次に10月7日にシニア向けの事業として、共催事業で南こうせつのコンサートを開催予定しております。今回は前日に岐阜県にツアーに来ていまして、翌日に松阪に来られるという事で公演委託料の方は無料となりまして、諸経費だけとなりますので約13万3,000円で開催出来ます。入場見込みとしては、1,000名を見込んでおります。次に11月18日、共催事業で中部フィルハーモニー交響楽団の第10回目の松阪定期演奏会を予定しております。演奏曲目は現時点では未定です。入場料は例年、特別席、指定席、自由席、学生席としていたしましたが、中部フィルとの協議により、販売しやすいように自由席をなくして、特別席、指定席、学生席

とするよう計画をしています。事業費は43万3,000円を予定しています。入場者見込みは650名を予定しています。次に12月10日は共催事業、第7回目松阪の第九です。こちらは松阪市内で合唱団を募集し、オーケストラは伊勢管弦楽団に決定しました。次にワンコインコンサートについて、アーティスト等は未定ですが29年度は3回開催を考えています。今年度はクラギ文化ホールが11月1日から吊天井の工事があり、3月末まで使用出来なかった為、2回ですが、来年度は3回行う計画としています。続きまして、農業屋コミュニティ文化センターですが、最初に8月3日、4日にスタインウェイのピアノ演奏体験会を計画しています。スタインウェイピアノは世界三大ピアノの一つでありまして、ベーゼンドルファー、ベヒシュタインと並ぶ世界の名器です。夏休み期間の平日に2日間行います。その次に日程は未定ですが、毎年恒例のなつかしの映画鑑賞会の開催を予定しています。入場料は今まで300円で実施していましたが、県内会館と比べまして、入場料も安価でしたので29年度からは入場料を500円にしたいと考えています。ファミリー倶楽部の割引は、200円割引きまして300円で入場していただけるよう考えています。入場者見込みは、両日とも300名を予定しています。次に嬉野ふるさと会館では、7月8日、9日にスタインウェイピアノ演奏体験会を開催いたします。こちら体験料500円として考えています。次に飯南産業文化センターは、日程は未定ですが、吉本のお笑いライブを開催したいと考えています。こちらは、中川家がメインで、スカイサーキットという二人グループで一人が飯南出身の方が居るお笑いグループがあり、そのグループを呼んで、後数組の芸人の出演を計画しています。事業費は少し高くなりまして、約369万2,000円、入場者見込み数は、300人を予定しています。自主事業全体で13件、会館の事業費としては1,228万3,000円と予定しています。以上、自主事業の説明とさせていただきます。ご意見ございますでしょうか。

委員長 一つよろしいですか。これを変えろという事ではないですが、やっぱり飯南の吉本ライブの費用が369万かかっている。これ他も全部入れても一番金額が高いんですよ。それで来る人が300人程度の所で、こんなにお金使って果たしてやる意味があるのかどうかというところが。市の方針だからこれはしょうがないという事なら別に言う事はないけども、普通で考えたら掛け過ぎじゃないかと思うんですが、その辺どうですか。

事務局 呼ぶ芸人の数を減らさせていただくのは。

委員長 いやいや、呼んだらこれぐらい掛かるんですよ、吉本は。これを下げろと言う

のではなくて、もともと吉本をこんな所で360万も掛かるようなものをやる意義があるのかどうかという事。どうですか、やる意義があるならそれで良いんですが。

事務局 飯南産業文化センターは、現在公民館を中心に使用されてまして、昨年度、文化センターのあり方市民討議会の意見もあり、大掛かりな事業としては、来年度の事業を最後にする見込みです。

委員長 これでもう最後ということ。

事務局 はい。費用が掛からない小規模なものに関しては、今後も考えているんですが。

委員長 そうですよ。

事務局 大きな事業としてはもう。

委員長 これが最後ね。どうですか。

委員 今年で最後かなと思ってたんですけど、実は飯南だけの広報見とる時に、チャリティーコンサートが大きく載ってて、17日の記事ないのかな、とその下に小さく印刷薄く載ってたんです。要するにチケットを売る気がないのかと思って。だから、300万でも400万でもそれを有意義に使うのではなくて、最後だから市民に文句言われないようにしようというだけのイベントじゃないかと。飯南だけに配られる広報を皆さん知らないと思うのですが、9月17日を飯南で探してて見当たらなかった。チャリティーが真ん中に大きく載ってるんです、その下に薄く、もしかしてこれかと思って見たけど。あんな記事でいいのかどうか。本当に市民の皆さんにこれだけのお金使いましたと最後ですからと、有難いなと分かってもらえるならいいけど。今年は実際どうなのかなと思って。チケット売れてるか聞きたいですね。だからどういう努力をして市民にそういう内容を知らせるかという事も含めて、自分達が市民に喜ばれる為にしてもらったら困ります。

委員長 そういう事で来年からですね。違う方向で小さいもので皆さんに喜んでもらえる使い方というのがあると思いますので。再来年からですね。

委員 お金さえ出せば良いというものでなく、市民に喜んでもらう事を。

委員長 喜んでもらえればそれでも良いですけどね、満杯になって。だから、非常に山の遠いとこだけど、一年に一回楽しみやって言ってくださる、満杯で来てくれるなら、360万でも活きると思うんです。金額どうこうじゃなくて、その兼ね合いですよ、費用対効果。金額が一番大きい360万という事は300人来たとして、一人1万2千円払って来てもらうという事。来たお客さんに税金を1万2千円払って来てもらってる事になるわけですよ。果たして1万2千円を来た人に払ってでも、吉本聞きにきてもらう価値があるのかどうかを考えられた方が良いと思います。次回はね、これはもうこれで良いと思います。他に何か。

委員 なつかしの映画鑑賞会なんですけど、私は300円で見れるの毎年楽しみにしてるんですが、一気に500円に上がる。安いなどは思っていたし、他所の地域でも500円くらいで見てるのでまあそうかなとは思いますが、一気に200円上がるのがいかがなものかというのと、ファミリー倶楽部に入れば300円というのなんですけど、ファミリー倶楽部会員を増やす為の営業的な事を何か考えているのかなと。やっぱりこの地域は300円で見たい人いっぱい居ると思うんですよ。で、他所の地域をいきなり言われても知らんがなという人も多いと思うんですよ。他所の地域と比較してというのは事務的な事なので。だから、一気に上がっちゃったよみたいになるかなという気がしたんですけど。

事務局 まず参考にさせていただきましたのが、亀山市の文化会館の事業で同じように日本の名作映画鑑賞会というのがありまして、これは一日に3本上映しまして、通し券で1,000円としておりまして、一本だけにつきますと、500円という入場料になっておりましたので、これを参考にさせていただきました。それと500円に上げた理由は松阪の上川にあります、勤労者ワークセンターがゆうとぴあという機関誌を発行しておりまして、そこを通じて買うと100円で売ってるんです。自販機で買うジュースより安いわけですので、それよりも安いとあまりいがかかなと思ひまして、亀山市さんもこういう値段でやっていますので500円というのを考えさせていただきました。決してファミリー倶楽部の会員を増やす為って事はございません。

委員 じゃなくて。私は基本的にファミリー倶楽部の会員っていうのは沢山増やした方が良くと思うので、こういうのをきっかけにファミリー倶楽部が入る事がお得ですよという事がアピールとか出来るかなと思って、そういう風に使えませんかという事の提案でもあるんですよ。

事務局 来年度は野村万作、萬齋さんの時にファミリー倶楽部に入っていて、先行予約と割引を受けて頂く事を考えております。

委員 ファミリー倶楽部に関しての方向的な事、一つの作品で一回ぼっきりで終わられるよりは、継続してずっと払い続けてもらえる様な人を作るような形でファミリー倶楽部されたら良いなと思いました。特にこういう値上げがあるとそういう所意識してしまいます。

委員長 良いご提案ですよ。

事務局 こちらの値段につきましては、500円でよろしいでしょうか。

委員長 いいんじゃないですか。もう決めちゃってね。

事務局 わかりました。ありがとうございます。

委員 見たい人は500円でも来るよ。

委員長 はい、他に何かご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。次お願い致します。じゃあこれで皆さん一応お認めいただけただけという事で、よろしいですね。

事務局 ありがとうございます。もう一つ、文化芸術団体共催事業ですが、現時点で、二団体の方から申請がありまして、9月2日、9月3日の土日に第7回松阪市民ギター音楽祭の開催の計画があります。フェスティバル部門は、一日目は嬉野の多目的ホールを使いまして、二日目の本番の方が農業屋コミュニティ文化センターの方で開催するという事で計画しております。フェスティバル部門ですが、入場見込みは350人、本番の方は400人を考えています。あと11月3日木曜ですが、第3回の松阪市民能の開催を予定しています。こちらは地元の会員及び能楽師による能、狂言の予定です。この11月3日という開催になりましたのは、蒲生氏郷郷の顕彰事業として設定をされているという事で聞いています。入場料は500円で、入場見込みは350人を考えております。以上文化芸術団体は、二事業が今の所提案されています。

委員長 何かご質問がありますでしょうか。皆さんよろしいでしょうか。そういう事でこれはオッケーです。次はその他の方に行ってよろしいでしょうか。事務局、

その他の方お願い致します。

事務局 前回、第一回目の運営委員会で催物案内について今まで会館別の催物予定を入れてきましたが、8月からカレンダー方式に変更いたしました。黄色いのが変更後で、こちらのコピーが以前の物となります。新しく変更させていただいたカレンダー方式について、こういう所を改良して欲しいなど、ありましたらご意見をお願いします。

委員 大変見やすくなったと思います。前のよりも見やすくなって良かったと思います。

委員 見やすくなったと思うんですけど、市民の皆さんが無料と書いてあるのは分からないですよ。行っても良いんですかって。ちなみに交通安全フェスタは、由美かおるでしたかね、交通安全とは全く関係ない芸能人さん来るんですけど、そういう特徴を書いてあげても良いのか、別になくても良いのか、問い合わせ先があるので。地域安全対策課なんて言ったら誰も行きませんよ。だからそういう税金の使い方の中で何かを教えてあげる事が出来たらね。これはこれでもの凄く見やすくなったし、あ、行きたいなー、農業屋かっていう感じで選べるので、それはそれで良いと思います。本当に良くして頂きました。

委員 今日、実は14時からここ来て、この話してたんですよ。もうちょっとこういう風にしたら良いっていう具体的な提案もしましたし、事務局の方からもこんな風にしたいと思うみたいな意見も出てきたので、良かったかなと思いついて。で、今さっき自主事業の説明を聞いてた時に例えば、おかあさんといっしょとかの所に水と緑のっていう内容を言っていましたよね。そういう事を少しこの催物の中に取り入れると良い。委員がおっしゃったのはそういう事だと思うんですね。本当に簡単な一言だけで良いと思うんですよ、入る所は入れるっていうぐらいで。

委員長 もうちょっと入れた方が良いね、一行ぐらいね。

委員 だから、これだけだとどうしても行く気持ちにはなりにくいと思うんですけど、さっき委員がおっしゃった様な感じで由美かおるの呼吸法とかがあってあったらちょっとそそるって人が中にはいるかもしれません。

委員長 チラシはチラシであるので、これですべて見てからチラシを取り寄せる。

委員 だから、チラシはこれの事だなんていう確認も出来ると思うんですね。そういう事も一つ考えて入れて下さればと思います。

事務局 はい、ありがとうございます。

委員長 どうですか、やっぱり見やすくなったですよ。

委員 本当に凄い努力してもらってます。

委員長 こう分かれているよりもね。じゃあ皆さん良くなったのご感想頂けて、佐藤さんもご提案ありがとうございました。

委員 提案して受け入れてもらう、取り上げてもらった事がいいよね。

委員長 今後もさらにご意見伺って、良い様にしていきたいと。しかもコスト全然上がってないもんね。じゃあ他に何か。

事務局 三雲教育事務所です。ユッコ・ミラーバンドのチラシを入れさせて頂きました。チケット販売が10月12日からになるんですが、こういう形でチラシの方作らせてもらいました。開催日が12月10日という事で寒いっていう事が例年言われるので、今回全席自由なのでちょっと考えて、当日入場整理券の配布を考えさせてもらいました。と言うのもハートフルみくもの周辺が何も待合とかない所なので、早めに来てもらった人は、チケット持ってもらって最前列のところで、違う所で待っていただく事を考えさせてもらって、入場整理券の配布を今回入れさせて頂きました。手持ちの資料、チラシとポスターを持って来たんですけど、ポスターは若干、遠くからでも見やすい様な形で黒文字で入れさせてもらいました。案の方が白だと遠目からでは見えないので、チラシは手で持っていただけなので、チラシとポスターをデザイン変えて作成させてもらいました。よろしくお願ひします。

委員長 まだ販売始まってないの？

事務局 まだですね。10月から。

委員長 見込みはもう完売？見込み。

事務局 高校生以下無料という事で、松阪市内の中学校にはちょっと事前に声を掛けさせてもらってあります。

委員長 あ、高校生以下無料。高校生以下って高校生も？

事務局 はい。無料にさせてもらいました。

委員 高校生は配らないの？

事務局 高校生は、チラシの配布はしますが、市内の中学校を中心と考えさせてもらって、先行予約ではないんですけど、予約の希望を募りたいと思っております。

委員 あんまり入りすぎたら困るよ。これ。

事務局 半分くらい入ったら良いかなと思っています。

委員 大人が行かへんって、こんなん。

委員 いや、私意外とこれ行きたいと思ってるけど。サックス好きとかって人達が結構いますよ。

事務局 9月5日にソロメジャーデビューされたので、その辺りで入場は見込めるかなと思っています。

委員 これ何席なんですか？

事務局 800は考えております。

委員 椅子全部前に出して？

事務局 出します。

委員 あれで800やった？

事務局 ただ上の席は使わないという事で、稼働椅子プラス椅子並べをして、入れる人数ぐらいまでは考えております。

委員長 高校生以下の方もチケットは必要になりますっていうのはどういう意味。

事務局 高校生以下無料だと、当日何も持たず来られる方が不安なので、チケットを用意させてもらいます。

委員長 無料のチケットがあるという事？

事務局 はい、そうです。チケット同一なんですけど、高校生は高校生でチェックを入れて一般と分けたいと思います。

委員長 ちょっと分かりにくいね。

委員 入場整理券、チケットを持っている子が入場整理券とまた当日換えるっていう。

事務局 換えるというか見せて頂いて、整理券を渡させてもらうという形にさせてもらいます。

委員 入場整理券は普通入る順番決めるやつですよ。

事務局 そうですね。全席自由席なので、良い所で見たい方は早く来ていただく。なので、整理券という形で載せました。

委員長 いっぺんに入らないように順番に？

事務局 そうです。

委員 それで一緒に行こうと最初言ってたけど、ここで9時から整理券ですよ。そう言われてそこでどうやって時間潰すのという事になって。

事務局 そうなんです。潰すところがないので違う所でお茶をしていただくとかそういう形で入場整理券とさせて頂いたんです。あの何もない所なので。

委員 車で行く人は良いけどね。

委員 そうそうそう。私自転車だから、もう辞めたと思ったんです。

事務局 空いてます。中で待っていただく場所あるんですけど、皆が皆入れるわけではないと思うので。

委員 沢山入ったら大変なことやで、前代未聞の演奏会。

事務局 全部入れるつもりでおりますので。

委員長 いいですよ。高校生やからタダにしても、ガラガラよりはよっぽどね、良いと思いますよ。

委員 金額はそんなに高くなかったかな？

事務局 総事業で140万ほどです。

委員長 だから、こっちの140万の方があっちの360万よりは活きると思うよ。

委員 職員がそういう風に頑張ってくれるという勢いがあればいいけど、あの広報見た時に、誰が頑張ってるのか。だから、飯南が一つになればそうなるし、一生懸命言ってるから僕も売ったろかと、人間そんなもんやでき。誰か一人、一生懸命にならないとダメ。金額の中身の問題じゃなくて、やっぱり飯南はどう思ってるか、三雲はどう思ってるか、税金をどう思うかという。

委員長 これでもおもしろいね。どれだけ来るか、若い子がね。でもチラシもポスターもインパクトあると思うよ。こういうのはインパクトある方がいいから。面白いな。ちょっとまあ見てみましょう。

事務局 以上です。ありがとうございます。

委員長 他になにか、事務局。

(事務局より次回の運営委員会日程提案、平成29年2月8日19時で決定)

委員長 皆さんの方からその他よろしいでしょうか。それでは今日はおかげ様で、非常にスムーズにいきました。これで第二回の運営委員会を終わらせていただきましたと思います。皆さんご協力ありがとうございました。